

2019年度事業計画書
法人の名称 特定非営利活動法人データDV防止全国ネットワーク

1 事業活動方針

データDV予防教育を普及するために、現時点でのデータDV予防教育の実施状況を調査する。

全国で実施されている多種多様な予防プログラムについて、予防教育の目的と効果の視点から検討する。生徒や先生、教育委員会などへもヒアリングを行うとともに、効果に影響する要因についても比較検討し、効果測定予備調査を行う。

データDV予防教育と支援体制の必要性について、国会議員を対象とした勉強会を開催する。データDVについて広く啓発するために、HPを活用すると共に、若者が主体となって啓発することを促進する。

データDV防止に関する活動を行う若者から有識者らが、官民を越え情報共有し、連携を深め、より効果的にデータDV防止活動を進めていくために、データDV防止スプリング・フォーラムを開催する。

データDV当事者支援のための連携を図るため、スプリング・フォーラムで当事者支援について分科会をもつと共に、全国マップを活用して支援情報を広く知らせていく。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① データDV予防教育の普及事業

- ・内 容 データDV予防教育の実施状況を調査し、報告書としてまとめ発行する。
- ・日 時 7~9月
- ・場 所 団体事務所
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 データDV予防教育の実施する団体・行政機関・個人 100団体(人)
- ・支出見込額 480,000円

② 政策提言とそれに向けてのロビーイング

- ・内 容 データDV予防教育および支援体制の必要性について、国会議員を対象とした勉強会(院内集会)を開催する。
- ・日 時 1月
- ・場 所 衆議院または参議院の議員会館
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 国会議員およびデータDV防止活動を行う者、記者等 50人
- ・支出見込額 100,000円

③ データDV当事者支援のための連携事業

- ・内 容 データDV当事者支援のための連携を図るため、スプリング・フォーラムで当事者支援について分科会をもつと共に、HP内にある全国マップを活用して支援情報を広く知らせる。
- ・日 時 3月
- ・場 所 都内公共施設
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 データDV防止活動を行う者または本活動に関心がある者 150人 および一般
- ・支出見込額 100,000円

④ 実態調査や効果測定などの調査研究

- ・内 容 全国で実施されている多種多様な予防プログラムについて、予防教育の目的と効果の視点から検討する。生徒や先生、教育委員会などへもヒアリングを行うと同時に、効果に影響する要因についても比較検討し、事前事後の予備調査を行う。
- ・日 時 4~12月
- ・場 所 団体事務所・ガールスカウト会館他
- ・従事者人員 デートDV予防教育を行う実施者・有識者等 80人
- ・受益対象者 デートDV予防教育を受講する生徒・教師等 1000人
- ・支出見込額 2,250,000円

⑤ 会員同士の情報共有、連携のためのフォーラム、シンポジウム等の開催

- ・内 容 会員同士の情報共有、連携のため、またより多くの人に活動を周知するために「デートDV防止スプリング・フォーラム2020」を開催する。
- ・日 時 3月
- ・場 所 都内公共施設
- ・従事者人員 50人
- ・受益対象者 デートDV防止活動を行う者または本活動に関心がある者 150人
- ・支出見込額 1,940,000円

⑥ 啓発活動

- ・内 容 デートDVについて全国の活動について情報を発信し、啓発を促進するためHPを運営する。若者が主体となる啓発事業を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 団体事務所・都内公共施設等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 デートDVに関心がある人およびデートDV防止活動を行う若者
- ・支出見込額 590,000円